

# 中国語における日源新詞の受容 —日源新詞の判別とその受容について—

張曉娜(鹿児島大学大学院)

## 1. はじめに

1978年の「改革開放」政策以後、中国は日本語由来の外来語の輸入ブームを迎え、「御宅族」(オタク) “萌”(萌え) “单品”(单品)等のような現代の日本文化と関わりの深い語を数多く輸入した。これらの1978年の中国の「改革開放」政策が実施されて以来、中国語に取り入れられた日本語由来の外来語は「日源新詞」と呼ばれている。本発表は日源新詞の定義と判別基準を明確にした上で、新語辞書、先行研究そしてメディアから集めた語について、受容パターンと意味の2つのレベルに見られる受容の特徴について報告する。

## 2. 日源新詞の定義

本稿のテーマである日源新詞は、中国語における「外来語」の一種である。中国語の「外来語」については、これまで数多くの研究者によって多様な研究がされてきたが(王力, 1958; 高名凱・劉正燊, 1958など)、「外来語」の概念とそれが意味する範囲についての議論は学者により異なり、いまだに定まった結論が出ていない(彭広陸, 2005)。とくに、その意味する範囲についての議論は、主に意識語(翻訳借用)と日本語由来の借形語が外来語に属するかどうかに集中している。本稿は、以上の問題点をふまえて、「外来語」とは、他の言語から取り入れられて、記号表現の面(音声面あるいは形態面)で借用が発生する語彙のことと定義する。具体的には図1に示すように、音訳語、逐訳語、そして借形語のことであり、意識語は含めない。この定義にしたがい、「日本語由来の外来語」は「日本語から借りてきた語彙」という意味で使うことにする。

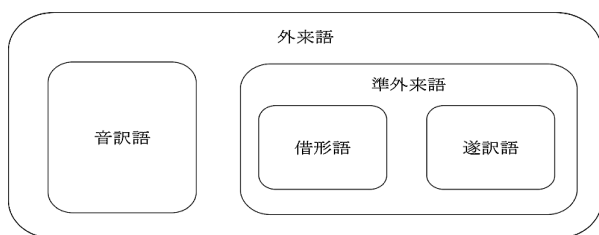


図1 本稿における外来語の意味範囲

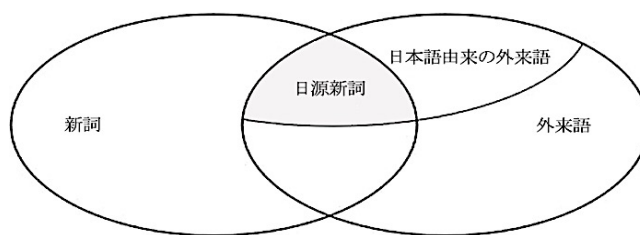


図2 本稿における日源新詞の意味範囲

表1 調査対象とした新詞辞書と収録語数

| 辞書                                        | 収録範囲         | 収録語数    |
|-------------------------------------------|--------------|---------|
| 漢語新詞語 2006~2014<br>(計9冊)                  | 2006         | 171     |
|                                           | 2007         | 420     |
|                                           | 2008         | 444     |
|                                           | 2009         | 573     |
|                                           | 2010         | 626     |
|                                           | 2011         | 618     |
|                                           | 2012         | 525     |
|                                           | 2013         | 363     |
|                                           | 2014         | 424     |
| 中国言語生活状況報告書 2016                          | 2015         | 469     |
| 100年漢語新詞新語大辞典<br>1912-2011<br>下巻のみ考察対象とする | 上巻 1912-1949 | 約 11000 |
|                                           | 中巻 1949-1978 |         |
|                                           | 下巻 1978-2011 |         |
| 新世紀新詞語大辞典 2000-2015                       | 2000-2015    | 約 5400  |
| 漢語新詞詞典 2005-2010                          | 2005-2010    | 約 2000  |

表2 調査対象とした先行研究と収録語数

| 先行研究                                                        | 収録語数            |
|-------------------------------------------------------------|-----------------|
| 丁杨 (2010) 現代汉语中的日源外来词研究 pp. 21-22                           | 単語:183<br>接辞: 7 |
| 王雯 (2010) 改革开放以来的日源外来词研究 p. 5                               | 単語:117          |
| 譙燕 徐一平 施建军編(2011) 日源新詞研究                                    | 単語:75           |
| 谢静怡 (2012) 日源外来词新词语特征 pp. 37-38                             | 単語:280          |
| 石聪慧 (2014) 动漫文化中的日源外来词研究 pp. 43-55                          | 単語:62           |
| 王婷 (2015) 現代中国語における日系外来語に関する認知的研究 —改革開放以来の新語を中心に— pp. 41-42 | 単語:295          |
| 張黎 (2015) 中国の新語に於ける日本からの借用語について —メディアの使用状況を中心に— pp. 41-42   | 単語:171          |

次に、本稿における日源新詞の定義について述べる。彭広陸(2013)によると、「新詞(新語)」の指し示す範囲は固定しているものではなく、時代とともに変化するものである。中国の歴史上での区分は、1978年以降を「新时期」と呼ぶ。本稿では「1978年改革開放政策以降に現れた語彙」を「新詞(新語)」として扱うことにする。「日源新詞」は「外来語」でありながら「新詞」でもある。そのため、本稿は、図2に示すように、「日源新詞」を「1978年の中国の改革開放政策以来、中国語に取り入れられた日本語由来の外来語」と定義する。

### 3. 日源新詞の収集と判別

#### 3.1 収集の基準と調査対象の選定

上述のように、「日源新詞」は常に更新されるものである。そのため、出来る限り新しい資料を利用して広く新詞を収集し、その特徴を明らかにすることが重要である。しかし、中国には日源新詞に特化した辞書は一つもなく、日源新詞を収録する新詞辞書でも日本語由来だと明記するものが少ないため、その量を把握するのは非常に難しい。そこで、本研究は2.の日源新詞の定義を基準として、新詞辞書および日源新詞に関する先行研究、さらにメディアの3つから語を集めた。その際、新詞辞書は出来る限り新しいものを選び、先行研究ですでに考察された辞書は避けることにした。本稿が参照した新詞辞書と先行研究は表1と表2の通りである。

#### 3.2 日源新詞の判別

##### 3.2.1 日源新詞の判別ステップ

日源新詞を収集するときの判別基準は以下の通りである。

##### (1) 外来語かどうか

本稿における外来語は、音訳語、借形語（形訳）、逐訳語のことを指す（図1）。意訳語や派生語を含むとする立場もあるが（彭広陸, 2013; 史有為, 2000 など）、本稿ではそれらは含めない。

##### (2) 日本語由来かどうか

語が日本語由来かどうかを判断するときには3つのステップが考えられる。

ステップ①：新詞辞書で日本語由来と明記されているかどうかを確認する

ステップ②：①で明記されていない場合は『デジタル大辞泉』や新詞集の『イミダス 2016』などを確認する。

ステップ③：②でも確認できない場合は、検索エンジン、Wikipedia、ニコニコ大百科、実用日本語表現辞典(ウェブリオ)などを確認する。

これらのステップを経て、「日本語由来」と確認できた場合のみを日源新詞とし、それ以外は分析からはずす。

##### (3) 新詞かどうか（1978年以後に輸入された語かどうか）

語が新詞かどうかを判断するときには2つのステップがある。

ステップ①：読秀コーパスと人民日報図文コーパスを検索し、初出記事の年代を確認する。

ステップ②：①の結果から、初出記事の年代が1978年以前の語彙の意味を文脈に照らして確認する。

これらの結果から、初出記事の年代が1978年以後の場合は新詞と扱う。それにたいして、初出が1978年以前の語は、文脈から判断される意味が1978年以降の新しい意味である場合は「旧詞新義」として新詞に含める。1978年以降も意味が変わらない場合は新詞ではないと判断する。

##### 3.2.2 現在までの収集結果

合計296語を集めた。内訳は、音訳語60語、逐訳語11語、借形語204語、接辞21語である。

### 4. 日源新詞の受容に見られる特徴

外国語が外来語として輸入されるときには、輸入先の言語の文字表記や文法の制約によって、何らかの変更が生じることがある。日源新詞の中国語化（言語的受容）には形態と意味の2つのレベルにその特徴が見られる。

#### 4.1 形態レベルの受容の特徴

##### (1) 日源新詞受容のパターンは増えたが、借形語が依然として一番多い。

19世紀末～20世紀初頭にかけての「日本語由来の外来語」輸入ブームにおいては、借形語としての受容が圧倒的であり、音訳語と逐訳語は極めて少なかった（沈国威, 1994）。それにたいして、1978年以降は多様なパターンが見られるようになった。たとえば、“OL”（OL）のようなローマ字語や“壁咚”（壁ドン）のような音訳+形訳の形式である。今回集めた語彙には、“Wota 艺”（オタ芸）のような仮名をローマ字表記に還元して輸入する受容法や“工口”（エロ）のような仮名の元になった漢字で表現するという新しい受容法が見られた。

##### (2) 音訳語の増加

沈国威（1994）によると、近代以降、中国語に入ってきた日本語の語彙には、ブランド名などの固有名詞を除けば、一般名詞としての音訳借用語は“榻榻米”（たたみ）のみのようなものである。それに比べて、新しい時代に入ると、日源新詞の受容パターンが増え、音訳語が徐々に見られるようになった。筆者が集めた296語のうち、音訳語は60語あり、全体の約20%を占めている。これらの語を10年ごとに時間を区切ると、各期間の輸入語数は表3のようになる。少しずつではあるが、音訳語は量的にも比率的にも増加する傾向にあると思われる。その中で、特に増加しているのは“卡哇伊”（かわいい）“欧尼酱”（お兄ちゃん）“赛高”（最高）等、すでに存在する概念や物事を新しく表現するためにできた音訳語、いわゆる贅沢借用語（luxury loans）である。

表3 各年代の音訳語の個数と総輸入語数

| 期間        | 音訳語 | 総輸入個数 | 比率（音訳語） |
|-----------|-----|-------|---------|
| 1978-1987 | 3   | 57    | 5%      |
| 1988-1997 | 8   | 55    | 15%     |
| 1998-2007 | 15  | 75    | 20%     |
| 2008-2017 | 23  | 72    | 32%     |

(3) 日本語由来の形態素（接頭辞と接尾辞等）の生産力が高いこと

今回の収集により、新詞辞書には、“激～”（激～）“～控”（～コン）“～族”（～族）のような日本語由来の接辞（接頭辞と接尾辞）によって作られた派生語や“过学死”“过劳肥”などのような日源新詞になぞらえて作られた「外来語自構詞」（史有為，2000）が数多く存在することがわかった。一部の例をあげる。

～控(kong) 大叔控 穿越控 攻略控 数码控 推特控  
 ～族(zu) 婚活族 剁手族 房族 恐生族 走婚族

これらの派生語の数は筆者が調べた中でも 150 語以上に達している。これらの語は本稿では日源新詞に含めないが、日本語由来の形態素の生産力が高いことは伺える。

#### 4.2 日源新詞の意味レベルの受容

日本語が中国語に輸入されるときには、意味レベルにおいてもさまざまな変容が見られる。外来語の意味的変容は主に意味範囲の拡大と縮小、意味のプラス/マイナスの変化、意味の派生、そして意味の転換などから観察できる（彭広陸，2005；丁杨，2010）。新語辞書掲載の“暴走”<sup>1</sup>は、輸入されて意味範囲の拡大/縮小、プラス/マイナスの変化、意味の派生等の変容すべてに関わるため、本節では“暴走”を例に意味レベルの受容状況を考察する。

##### 4.2.1 “暴走”の意味的変容

『デジタル大辞泉』によると、「暴走」の意味は以下のとおりである。

【暴走】ぼう - そう [名] (スル)

①常軌や規則を無視して乱暴に走ること。②運転者のいない車両が走りだすこと。また、走っている乗り物が制御できない状態になること。③周囲の状況や他の人の思惑を考えずに勝手にどんどん事を進めること。④野球で、走者が無謀な走塁をすること。⑤コンピューターが異常な動作を始めて、制御できなくなること。

このように、「暴走」には5つの意味があり、基本的にはマイナスの意味をもつ語である。それにたいして、中国語としての“暴走”の意味は、新語辞書の『新世紀新詞語大辞典』によれば以下の通りである。

“暴走” [動]

①形容因失控而导致的狂暴以及不受人控制的行为，多出现在动漫作品中。

（コントロール不能により引き起こした乱暴な行為。アニメやマンガ作品によく出てくる。）<sup>2</sup>

②一种户外运动方式，通常沿着确定的路线，徒步或驾车行走一日或数日。

（户外运动の一種であり、普通は決まった路線に沿って、徒歩やドライブで一日/数日中歩く/走ることを指す。）

中日の意味を比べると、中国語新詞辞書の意味②と対応する日本語の意味は見られないが、中国語の①は日本語の②とある程度の対応関係があると思われる。中国語①の「多出现在动漫作品中」（アニメやマンガ作品によく出てくる）という説明から、この意味はアニメやマンガ作品から輸入された可能性が高いと考えられる。「暴走」という語がアニメやマンガ作品に初めて使われたのは 1988 年の『機動警察パトレイバー』<sup>3</sup>（第5話のタイトルは『暴走レイバーX10』）である。しかし、当時中国に輸入されるときには、第5話のタイトルは“暴走”ではなく、“狂走”と訳された。「暴走」の語自体が中国人に知られたきっかけは、恐らく『新世紀エヴァンゲリオン』<sup>4</sup>の輸入だと考えられる。この場合の「暴走」は、主人公らの乗る決戦兵器の「エヴァンゲリオン」が「ロストコントロールによって引き起こされた狂った状態」を意味し、それがアニメのヒットによってファン

<sup>1</sup> 本節は、日本語と中国語を区別するために、日本語の暴走を「」，中国語の暴走を“”で括る。

<sup>2</sup> 中国語辞書の意味および中国語の例文の翻訳は筆者による。

<sup>3</sup> 『機動警察パトレイバー』：1988年を基点とした10年後からの数年間の近未来の東京を中心とした地域を舞台とした漫画，アニメ，小説などのメディアミックス作品である。マンガはゆうきまさみにより，アニメは押井守，吉永尚之等による。（Wikipedia：<https://ja.wikipedia.org/wiki/機動警察パトレイバー> 2017/01/24）

<sup>4</sup> 『新世紀エヴァンゲリオン』庵野秀明監督，GAINAXの原作によるSFアニメ作品。大災害「セカンドインパクト」後の世界（2015年）を舞台に，巨大な人型兵器「エヴァンゲリオン」のパイロットとなった14歳の少年少女たちと，第3新東京市に襲来する謎の敵「使徒」との戦いを描く。（Wikipedia：<https://ja.wikipedia.org/wiki/新世紀エヴァンゲリオン> 2017/01/24）

の間で広がった(王大岡; 2014)。したがって、アニメやマンガの世界では、「暴走」という語は「ロストコントロールによって引き起こされた狂った状態」として認識され、作品と共に中国に伝わり、中国語の“暴走”の意味として定着した。中国語の語義①は日本語辞書の②の後半「走っている乗り物が制御できない状態になること」の意味に対応しているが、これは中国語の“暴走”は日本語から輸入される際に、語義が5つから1つになって、意味範囲が縮小したものと考えられる。

それにたいして、中国語②の意味は日本語の意味とは全く関係なく、漢字の意味から派生した新しい意味である。つまり、語彙の「字」の意味が「詞」の意味への影響によってできた意味である。日本語の「暴走」における漢字の「暴」は主に「乱暴、度を越した」、「走」は「走る」という意味で使われている(スーパー大辞林, 2010)。一方、中国語になった“暴走”はその漢字の“暴”が“激し勢い、猛烈な”というふうに理解され、くわえて現代中国語において“走”は“走る”ではなく、“歩く”へと転換したため、“暴走”は日本語原語の「乱暴に走る」の代わりに、“激しい勢いで歩く”(つまり早足)というふうに理解されてしまった。

このように、「暴走」は“暴走”になることで、意味が縮小したのと同時に意味の拡大も生じた。日本語の「暴走」は基本的にはマイナスの評価を含意する表現として使われているが、中国語では中立的な意味(②)が生じたため、“暴走”はマイナスまたは中立的な意味を含む表現になった。

しかしながら、中国でもっとも権威のある漢語辞書の『現代汉语词典』最新版の第7版(2016)には“暴走”が収録されたが、語釈には「[動] 指在室外长距离快速行走。」([動] 戸外で長距離に早足すること)という意味しか収録されていない。つまり、日本語原語の意味は中国語では二次的な意味(①)となり、新しく派生した意味のほうが主要な意味になったのである。その原因は、おそらく漢字から日本語原語の意味が読み取りにくいためと考えられる。彭広陸(2013)によれば、中日両語は漢字を使い、語構成にも大きな違いが見られないため、中国人は日本語由来の外来語にさほど違和感と抵抗感を覚えないですむ。一方で、同じ文字を使うからこそ、理解に支障をきたす場合もあり、「暴走」はその一つの例である。漢字は中日両語それぞれで千年以上の発展を経ているが、その使い方は共通していても、語義の変遷や語感が必ずしも一致しているとは限らない。上述のとおり、日本語の「暴」と「走」意味は、中国語の“暴”と“走”の意味とそれぞれ異なるため、日本語原語の「乱暴に走る」という意味は、字面からすでに読み取りにくくなった。その代わりに、“激しい勢いで歩く”(つまり早足)というふうに理解されるようになったのである。

## 5. おわりに

本稿は日源新詞の定義と判別基準を明確にした上で、新詞辞書、先行研究そしてメディアから集めた296語について、語彙の形態と意味の2つのレベルに見られる受容の特徴について考察した。日源新詞の形態レベルの受容の特徴は、①受容パターンが増えたが、借形語が依然として一番多いこと、②音訳語の増加、③日本語由来の形態素(接頭辞と接尾辞等)の生産力が高いことがわかった。意味レベルにおいては、「暴走」を例に日源新詞の受容状況を考察した結果、日本語が中国語に輸入されるときには、意味する範囲の拡大/縮小、語の評価的含意の極性(プラス/マイナス)の変化、意味の派生、および意味の転換等の変容が観察されること、②漢字が語彙の意味理解へ影響をもたらすことがわかった。

## 参考文献

彭広陸(2013)「中国語の新語に見られる日本語からの借用語」『日本語学』32 13-11 明治書院

彭広陸(2005)「中国語と外来語」『国文学 解釈と鑑賞』第70巻1号 至文堂

沈国威(1994)『近代日中語彙交流史』笠間書院

史有為(2000)『漢語外来詞』商務印書館

王大岡(2014)「日語ACG亜文化流行語研究」[M] 東北師範大学修士論文

丁楊(2010)「現代汉语中的日源外来词研究」[M] 江蘇大学修士論文

『デジタル大辞泉』(第二版)2012 小学館

『スーパー大辞林』(第三版)2010 三省堂

『現代汉语词典』(第七版)2016 商務印書館

『新世紀新詞語大辞典』2015 上海辞書出版社

現代日本語書き言葉均衡コーパス：[http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/search\\_form](http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/search_form)

読秀コーパス：<http://www.duxiu.com/showyou.jsp?o=1>

人民日報図文コーパス：<http://58.68.146.102/rmr/20170124/1?code=2>

ヤフー：<http://www.yahoo.co.jp>

Wikipedia：<https://ja.wikipedia.org/wiki/メインページ>

ニコニコ大百科：<http://dic.nicovideo.jp>

実用日本語表現辞典(ウェブリオ)：<http://www.practical-japanese.com>